

## 市民推進会議平成 26 年度報告書（案） 【抜粋】

## 目 次（案）

- 1 はじめに
- 2 横浜みどりアップ計画と市民推進会議
  - (1) 横浜みどりアップ計画
  - (2) 横浜みどりアップ計画市民推進会議
- 3 市民推進会議平成 26 年度の活動実績
  - (1) 市民推進会議(全体会議)、施策別専門部会
  - (2) 現地調査
  - (3) みどりアップ計画やみどり税についての情報の提供
- 4 施策ごとの評価、提案  
(計画全体への意見、全般的な評価・提案の概要)
  - (1) 取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む
    - 施策 1 樹林地の確実な保全の推進
    - 施策 2 良好な森を育成する取組の推進
    - 施策 3 森と市民とをつなげる取組の推進
  - (2) 取組の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる
    - 施策 1 農に親しむ取組の推進
    - 施策 2 地産地消の推進
  - (3) 取組の柱 3 市民が実感できる緑をつくる
    - 施策 1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進
    - 施策 2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進
  - (4) 効果的な広報
    - 市民の理解を広げる広報の展開
- 5 市民推進会議広報誌「みどりアップQ」(平成 26 年度発行分)
- 6 市民推進会議委員名簿

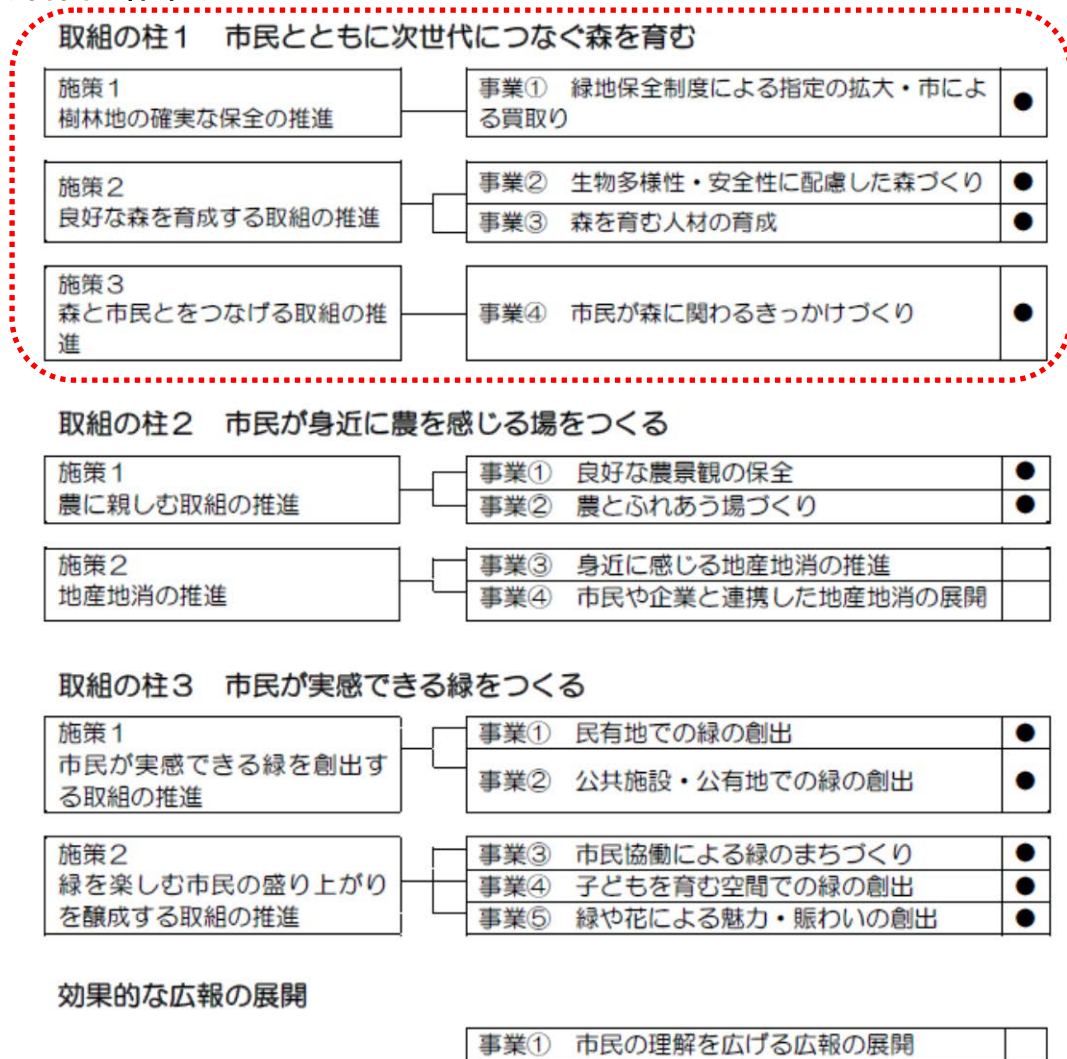


## 4 施策ごとの評価、提案

市民推進会議では、みどりアップ計画の「市民とともに次世代につなぐ森を育む（「森を育む）」、「市民が身近に農を感じる場をつくる（「農を感じる）」、「市民が実感できる緑をつくる（「緑をつくる）」の施策と、みどりアップ計画を市民の皆さんに周知するための「広報・PR」について、現地調査で市民や活動団体などからいただいた意見等を踏まえて、評価・検証をおこないました。

なお、みどりアップ計画で進めている事業・取組には、横浜みどり税の導入時に定めた用途に沿って横浜みどり税を充当している事業・取組と、みどり税を充当せずに進めている事業・取組がありますが、市民推進会議では市民の皆さんが負担している横浜みどり税を充当している事業・取組を中心に評価・検証をおこないました。

### ◆計画の体系◆



●：横浜みどり税を充当している事業・取組

◆計画全体への意見 ・ 全般的な評価の概要◆

.....  
.....  
.....

## (1) 取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

### 施策1 樹林地の確実な保全の推進

事業	事業の概要	進捗状況(平成27年1月末時点) 【5か年の目標】
緑地保全制度による指定の拡大、市による買取り	<p>市内に残る樹林地の多くは民有地であり、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐためには、土地を所有する方が、できるだけ持ち続けられるよう支援することが必要です。そこで、緑地保全制度の指定により土地所有者への優遇措置を講じることで、樹林地を保全します。</p> <p>また、土地所有者の不測の事態等による、樹林地の買入れ申し出に対応します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新規指定面積： 50.5ha 【新規指定：500ha】</li> <li>• 買取面積： 8.1ha 【買取想定： 108ha】</li> </ul>



今井町多子谷特別緑地保全地区(保土ヶ谷区)



川島町二ノ沢特別緑地保全地区(旭区)

#### ◆施策1についての評価・提案

- ・取組の成果として、緑地保全制度で指定した面積を出していますが、数字だけでは市民が成果を実感しにくい。ため、保全型の施策の成果をどうやって見える化するかが課題です。
- ・市民が成果を実感するための一つの形として、市民が散策しやすいようにしたり、森のガイドを置くなど、指定した樹林地の利活用の促進についても期待します。

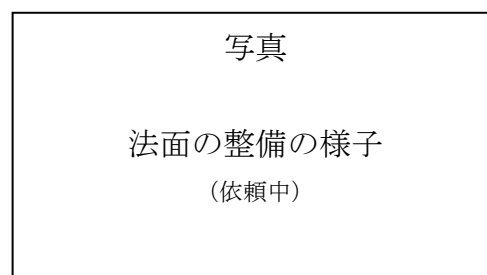
.....

## 施策2 良好な森を育成する取組の推進

事業	事業の概要	進捗状況 (1月末時点) 【5か年の目標】
生物多様性・安全性に配慮した森づくり	樹林地の維持管理(森づくり)を行う際の技術指針である森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全、利用者の安全や快適性の確保、良好な景観形成など、森に期待される多様な役割に配慮した森づくりを推進します。また、緑地保全制度の指定を受けた土地を所有する方の維持管理負担を軽減するための支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン等を活用した維持管理作業を樹林地で実施、8公園で実施中</li> <li>【推進】</li> <li>・保全管理計画を樹林地3か所、公園5公園で策定中</li> <li>【15か所、10公園】</li> <li>・樹林地維持管理助成金交付受付：132件</li> <li>【650件】</li> <li>・法面の整備 施工中1か所、測量中1か所、設計中1か所</li> <li>【10か所】</li> <li>・チップターの貸出し：8回</li> <li>【推進】</li> </ul>
森を育む人材の育成	市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。また、森づくり活動を行う団体を対象に、活動に必要な支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を16回実施、ニュースレターを3回発行【推進】</li> <li>・森づくり活動団体への支援：樹林地25件、公園9件</li> <li>【樹林地延べ50団体、公園延べ50団体】</li> </ul>



ガイドライン等を活用した維持管理作業(飯島市民の森)



研修の様子(新治市民の森)



活動の様子(さちが丘第四公園)

◆施策2についての評価・提案

- ・森づくりガイドラインを活用した維持管理は、生物多様性の保全に結びつく素晴らしい取組であり、その推進を評価します。
- ・生物多様性の保全は実践の場で見るのが最もわかりやすく、維持管理の現場を子供たちにも見せてほしいと考えます。
- ・後継者不足に悩んでいるような地域の森の維持管理に、ボランティアや市民が参加しやすい仕組みづくりについての検討を期待します。

.....  
.....

### 施策3 森と市民とをつなげる取組の推進

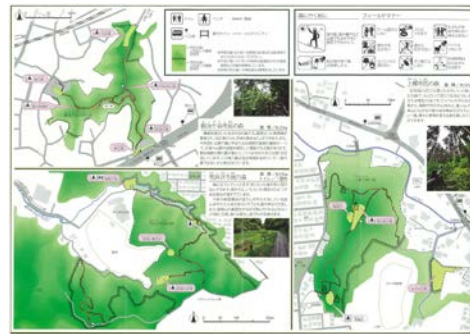
事業	事業の概要	進捗状況 (1月末時点) 【5か年の目標】
市民が森に関わるきっかけづくり	森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関するイベントや講座の開催などにより、市民が森に関わるきっかけを提供します。また、平成25年度までに設置したウェルカムセンターを活用し、多くの市民が、横浜の森について理解を深めることができるような情報発信を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント等の実施：80回 【180回】</li> <li>ガイドマップ：3地域で作成中 【推進】</li> </ul>



森の中のプレイパークイベント(都筑区)



ウォーキング(港北区「綱島市民の森」)



ガイドマップ 上郷市民の森、荒井沢市民の森、鍛冶ヶ谷市民の森 (旭区)

#### ◆施策3についての評価・提案

- .....
- .....
- .....



◆取組の柱1「市民とともに次世代につなぐ森を育む」全体についての評価・提案

.....  
.....

「森を育む」施策を検討する部会 部会長コメント

(300～500 字程度)